

本日のプログラム

- 例会 第 2736 回
- 1.開会点鐘
 - 2.ロータリーソング
 - 3.ビジター紹介
 - 5.会食
 - 6.会長挨拶
 - 7.幹事報告
 - 8.出席報告
 - 9.スマイルBOX
 - 10.本日の卓話 望月博文君
 - 11.閉会点鐘

例会の予定

- ・ 10月5日(金) 社会奉仕：草下刈り
- ・ 10月12日(金) ガバナー補佐訪問
- ・ 10月19日(金) 卓話：神谷一博君
- ・ 10月26日(金) ガバナー公式訪問
- ・ 11月2日(金) 卓話：高杉尚男君



会長挨拶

(代行：副会長 杉山茂久君)

本日は、会長が欠席の為代わりにお話しさせていただきます。
 「ガバナー月間」より少し読ませて頂きたいと存じます。
 脇ガバナーより「クラブ会長・幹事の皆様、そしてクラブ会員の皆様へ」と題しまして、『ロータリーの目的と職業奉仕について』ガバナー公式訪問の際、会員の皆様からロータリーの目的とは何か、また職業奉仕とは何かについてたびたび質問があります。そこで今月はロータリーの目的と社会奉仕について考えてみました。私たちロータリアンは、日ごろクラブの例会や奉仕活動に参加しておりますが、改めてロータリーの目的が書いてあるのでしょうか。標準クラブ定款第5条にロータリーの目的が規定されています。クラブ定款になぜ標準（スタンダード）という言葉がついているのでしょうか。ロータリーのクラブ定款は世界中どこのクラブでも同一の定款を採用しているからです。
 ここに定められている「ロータリーの目的」とは、何のためにロータリーがあるのか。私たち会員がロータリーに入会して目指すものは何なのかということについて規定されています。(以下省略しますのでガバナー月信をご参照くださいませ)
 来月は脇ガバナーが公式訪問に来られます。
 是非、私も含めてみなさんも湯河原クラブの定款をもう一度読み返して頂き、脇ガバナーから急に質問されても答えられるように今から準備して頂ければと思いますので、何卒宜しくお願いします。

スマイルBOX

9月28日～30日

- ・ 第9グループガバナー補佐 中谷元士君（小田原北RC）
 本日はAMD Aの江橋様の卓話を拝聴させて頂きに参りました。大変楽しみにしております。また、10月12日の補佐訪問、合わせてよろしくお願い致します。
 - ・ 西山敦君 城堀産土八幡神社の例祭が無事終了しました。
 - ・ 神谷一博君 中谷第9グループガバナー補佐ようこそお越し頂きました。これからもご指導よろしくお願い致します。
- ゲスト 特定非営利活動法人AMD A社会開発機構 江橋裕人様
 ビジター 第9グループガバナー補佐 中谷元士君（小田原北RC）
 青木義美君（熱海南RC）



出席報告	ゲスト 1名	ビジター 2名	会員 24名
	欠席 3名 (免除者0名)		前回の修正出席率 87.50%
	出席率 86.36%		前々回の修正出席率 90.91%

事前メイクアップ 1名

第2780地区 第9グループ

湯河原
ロータリークラブ

会長 石田 浩二
幹事 小倉 高代

事務所 神奈川県足柄下郡湯河原町宮上
湯河原町宮上 566
湯河原町温泉観光協会内

例会場 静岡県熱海市泉 107
ニューウェルシティ湯河原
例会日 毎週金曜日 12:30～13:30



平成30年9月28日(金)

天候 晴れ
合唱 それでこそ
ロータリー



国際ロータリー2018-19
RI会長 バリー・ラシン

第2780地区
ガバナー 脇 洋一郎



インスピレーションになろう

<国際ロータリー日本事務局> 1. 10月のロータリーレート 1ドル112円

<ガバナーより> 1. 9月北海道胆振東部地震への義援金協力依頼

寄付の目安として 一人当たり500円以上をお願いいたします。湯河原RCは会員から集めるのではなく、スマイルボックス会計より1人当たり500円・合計12,000円を寄付致します。

2. 財団月間卓話者派遣について 卓話日：11月16日(金)

<財団学友> 遠藤 拓海様 留学先：キングスカレッジロンドン戦争学部 専攻内容：国際平和と安全保障コース
推薦クラブ：小田原ロータリークラブ

<連絡事項> 1. 10月の例会は、5日山もみじの下草刈り、12日ガバナー補佐訪問、19日米山月間卓話、26日ガバナー公式訪問です。

次週は、山もみじの下草刈りです。10時現地集合ですので宜しくお願い致します。なお、雨天中止の場合は事務局よりFAXで連絡があります。中止の時は、11時よりお弁当を配布しますので、観光会館まで取りに来て下さい。

2. 10月は第2回目の会費の集金月です。皆様ご協力をお願い致します。

卓話：望月 博文君

ゲスト：特定非営利活動法人AMD A社会開発機構 江橋裕人様

AMD A社会開発機構ミャンマー事業
～マイクロファイナンスの可能性～

国際ロータリー第2780地区
湯河原ロータリークラブ
2018年9月例会

特定非営利活動法人AMD A社会開発機構
ミャンマー事業担当
江橋裕人



ミャンマー連邦共和国

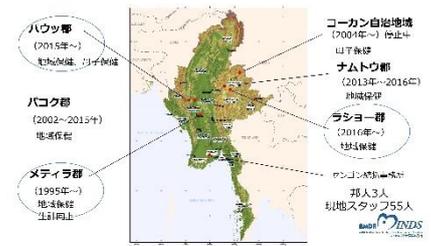
- 人口：5,142万人 (2014年)
- ビルマ族が約1/3の少数民族
- 仏教徒が9割
- 言語：ネピト (2006年～)
- 国土：68万km² (日本の1.8倍)
- 人間開発指数：148位 (189ヵ国中)
- 一人あたりGDP：1,416ドル



AMD A(アムダ)とは
The Association of Medical Doctors of Asia



AMD A-MINDS事業国



メティラでの活動

- 第二次世界大戦へ、日本軍と連合軍との間で激戦が繰り返された場所。
- 「テラゴシ・パゴダ (名「国際平和パゴダ)」
- 日本からのボランティアによる協会：保健医療分野の支援活動が行えるNGO?
- 1995年、メティラでの支援活動を開始。#23年の実績
- 海軍医療隊 (JMSDF) 海外派遣など
- 保健医療支援 (AMDA) 派遣隊、派遣医療官など
- 1998年：メティラ県衛生局支援 (小児保健研修、人材育成など)
- 98年度：マイクロクレジット事業開始 (パイロットを経て2002年から本格的に)



年月	協会名 (実施地)	村数	概要
1998年	AMD A	25村	パイロット事業にて2村で開始後、2002年に25村に移行開始
2006年	国際ロータリー第2780地区	7村	2006-2007年：5村開始 2012年：2村開始 現状：7村 398人
2008年	高橋・中川基金 (TNFD)	1村	64人 (778)
2010年	かわいかわ財団	2村	アイ村：39人 (785) オーネボ村：54人 (743)
2010年	国際RC	3村	グワタウラ1村：83 (745) ニヤンゴン村：38 (799)
2018年8月末現在		64村	フェリス毛織物財団の基金、外資系日本NGO産産協会の協力を得る 3,313人

RID2780支援村

村	支援開始日	参加者数	
		開始時	2018年8月
1 ヨーカン村	2006年10月	36名	50名
2 シンヨー村	2007年1月	38名	62名
3 カーウ村	2007年1月	61名	32名
4 チャウビューゴン村	2007年6月	62名	45名
5 インパレ村	2007年7月	35名	75名
6 シンミ村	2012年9月	34名	50名
7 チャウンヤウ村	2012年9月	50名	74名
		計	316名 388名



厚木中央RCのご支援による学用品寄付



海老名RCのご支援による保健センター環境整備活動



「信頼できる寄付先を探していた」「少しでも長く役に立ちたい」
継続的なご支援は、地域に寄り添った長い活動を可能にします。1人ひとりの思いが、貧困地域の暮らしの改善を支援する大きな力になります。



かながわ湘南RCのご支援による黄熱診断機の寄贈



鎌倉中央RCのご支援による学校給食提供



ご支援の可能性

小児科病棟の給食支援

